



2024年3月期 第2四半期 決算説明会資料

スタンダード市場 証券コード6482

2023年11月7日

株式会社ユーシン精機

➤ 2024年3月期上期業績

- ・売上高は、欧州で増加したものの日本と中国での販売減少により**減収**
- ・営業利益は、売上高減少、原材料高騰、将来に向けた人財投資等により**減益**

➤ 2024年3月期予想 (予想据え置き)

- ・売上高は**増収見込**
アジアでの販売減少があるものの、WEMO社の販売追加
下期はメディカル向け大口特注案件の売上見込
- ・営業利益は、原材料高騰、将来に向けた人財投資等により**減益見込**

➤ トピックス

- ・WEMO AUTOMATION AB (スウェーデン)の株式100%取得 (2023年5月)
- ・低全高ハイパフォーマンスパレタイジングロボットを発売 (2023年8月)
- ・IPF Japan 2023 <国際プラスチックフェア> @幕張メッセ (11月28日~12月2日)
- ・2023国際ロボット展 @東京ビッグサイト (11月29日~12月2日)

2024年3月期上期実績と通期予想



	2023/3		2024/3			
	第2四半期	通期	第2四半期		通期 (予想)	
	金額	金額	金額	伸び率*	金額	伸び率*
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	10,355	22,373	9,975	△3.7	23,000	2.8
売上総利益 (売上総利益率)	4,315 41.7%	9,573 42.8%	4,113 41.2%	△4.7	9,400 40.9%	△1.8
営業利益 (営業利益率)	1,078 10.4%	2,639 11.8%	693 7.0%	△35.7	2,400 10.4%	△9.1
経常利益 (経常利益率)	1,251 12.1%	2,787 12.5%	840 8.4%	△32.8	2,400 10.4%	△13.9
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	884 8.5%	1,922 8.6%	539 5.4%	△39.0	1,600 7.0%	△16.8
* 「伸び率」は、通期は対前期、第2四半期は対前年同四半期増減率						
<為替レート> 米ドル/円	133.97円	135.47円	141.00円		125.00円	

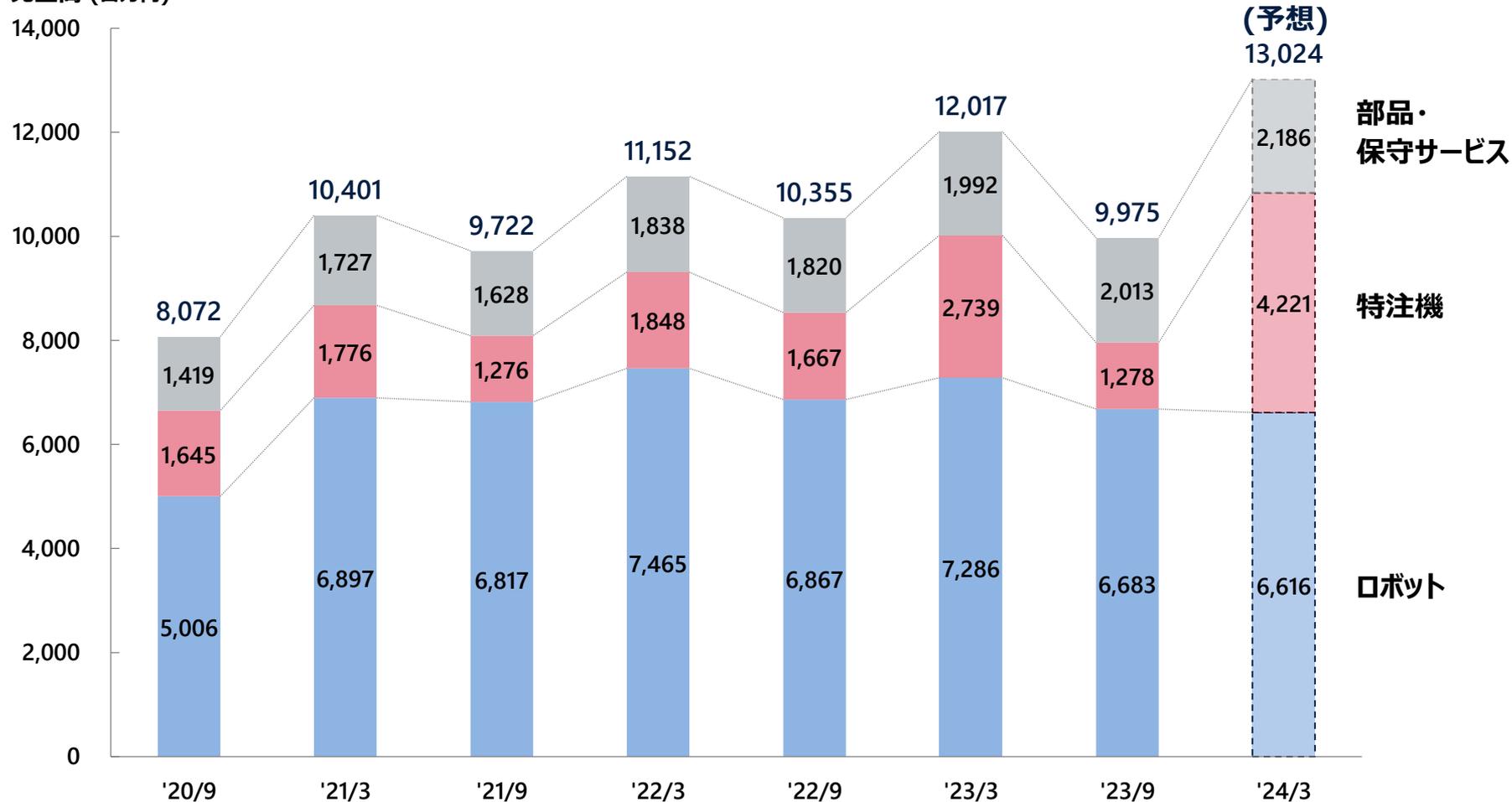
上期実績の要因、通期予想の前提

	2024/3上期（実績）	2024/3通期（予想）
売上高	<p>➤ 前期比3.7%減の9,975百万円</p> <ul style="list-style-type: none">・ ロボットは前期比2.7%減 （－）中国市況の減速 （＋）欧州はWEMO社により増加・ 特注機は前期比23.3%減 （－）前年同期は複数の大口案件あり・ （＋）為替の円安へのシフト	<p>➤ 前期比2.8%増の23,000百万円</p> <ul style="list-style-type: none">・ ロボットは前期比6.0%減 （－）グローバルで企業の設備投資に不透明感 （＋）欧州向けでWEMO社の販売追加・ 特注機は前期比24.8%増 （＋）メディカル関連大口特注機は引き続き好調 （＋）自動化需要の継続
営業利益	<p>➤ 前期比35.7%減の693百万円</p> <ul style="list-style-type: none">（－）売上高の減少（－）原材料費の高騰（－）人財投資に伴う人件費の増加（＋）海上輸送運賃の高騰緩和	<p>➤ 前期比9.1%減の2,400百万円</p> <ul style="list-style-type: none">（－）原材料費の高騰（－）人財投資に伴う人件費の増加（＋）売上増に伴う増益

品目別売上高（半期毎）

- ▶ '24年3月期上期は、ロボットの販売が主に**日本・中国**で減少
- ▶ '24年3月期下期は、**メディカル向け特注機**の販売を**欧州・米国**で見込む

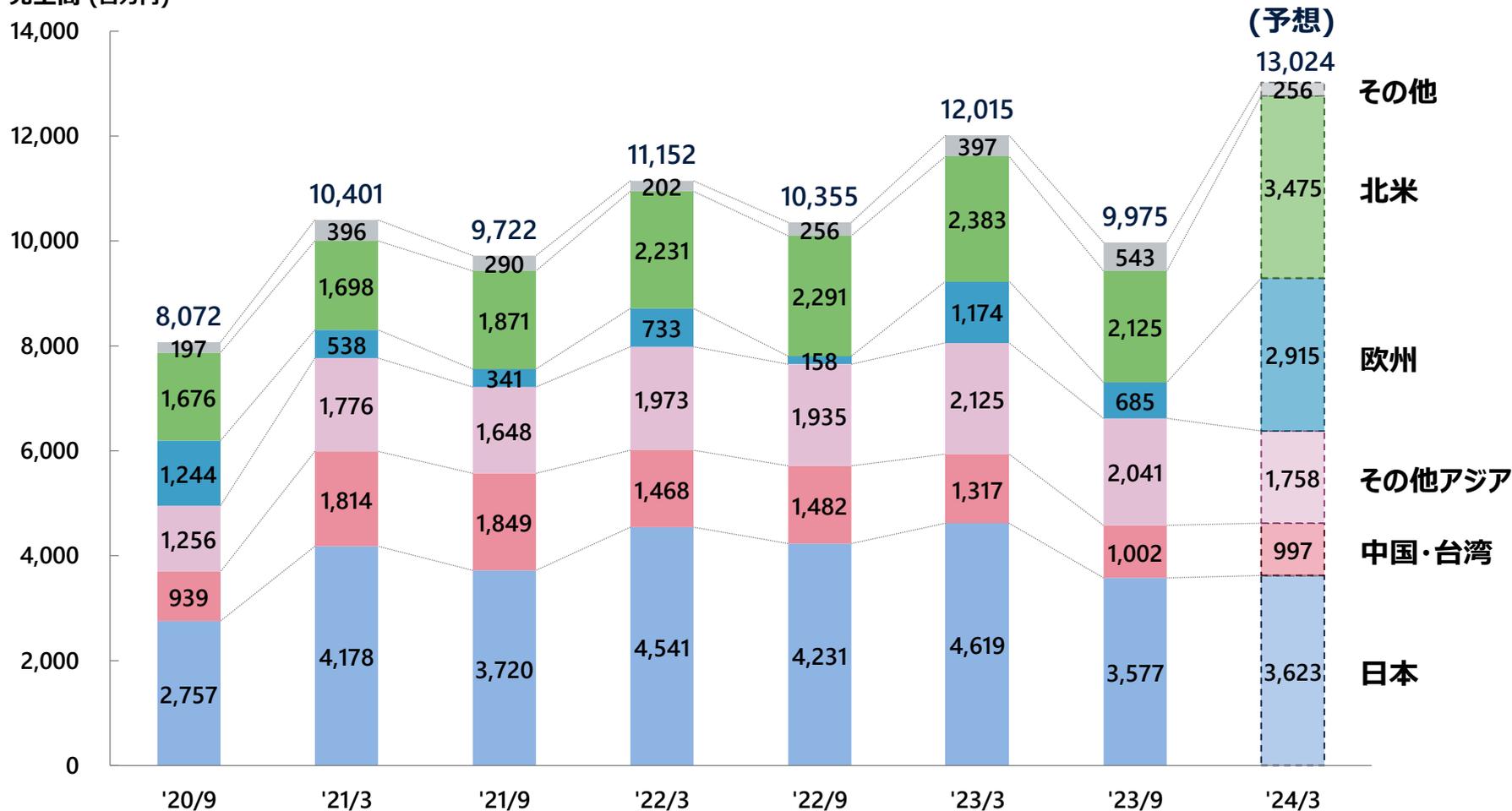
売上高 (百万円)



地域別売上高（半期毎）

- ▶ '24年3月期上期は、主に**日本・中国**で企業の設備投資が低調のため**販売減少**
- ▶ '24年3月期下期は、**欧州・北米**で**メディカル向け特注機**が売上見込
- ▶ '23年7月より、欧州では**WEMO社**の販売が追加

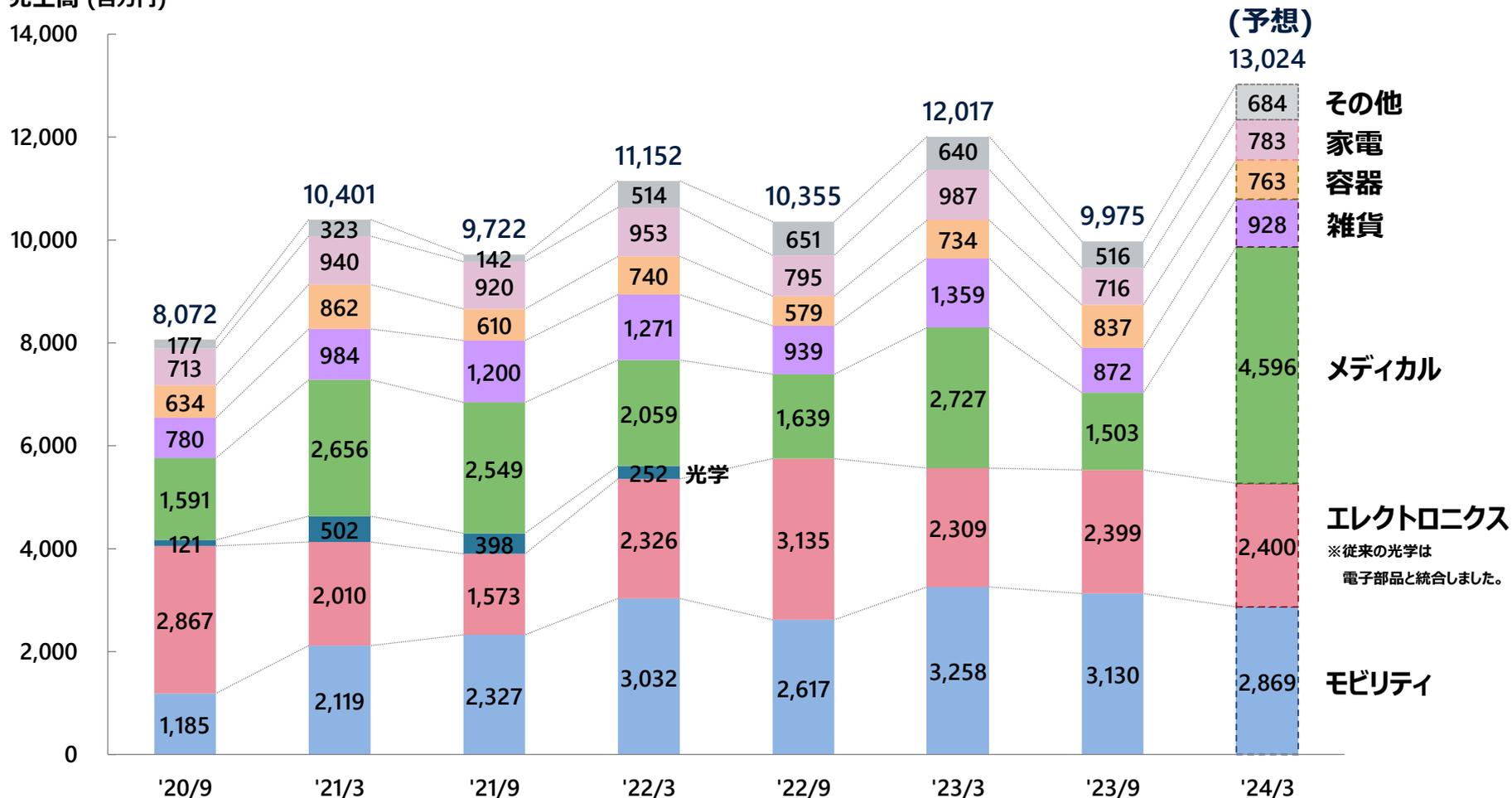
売上高 (百万円)



業種別売上高（半期毎）

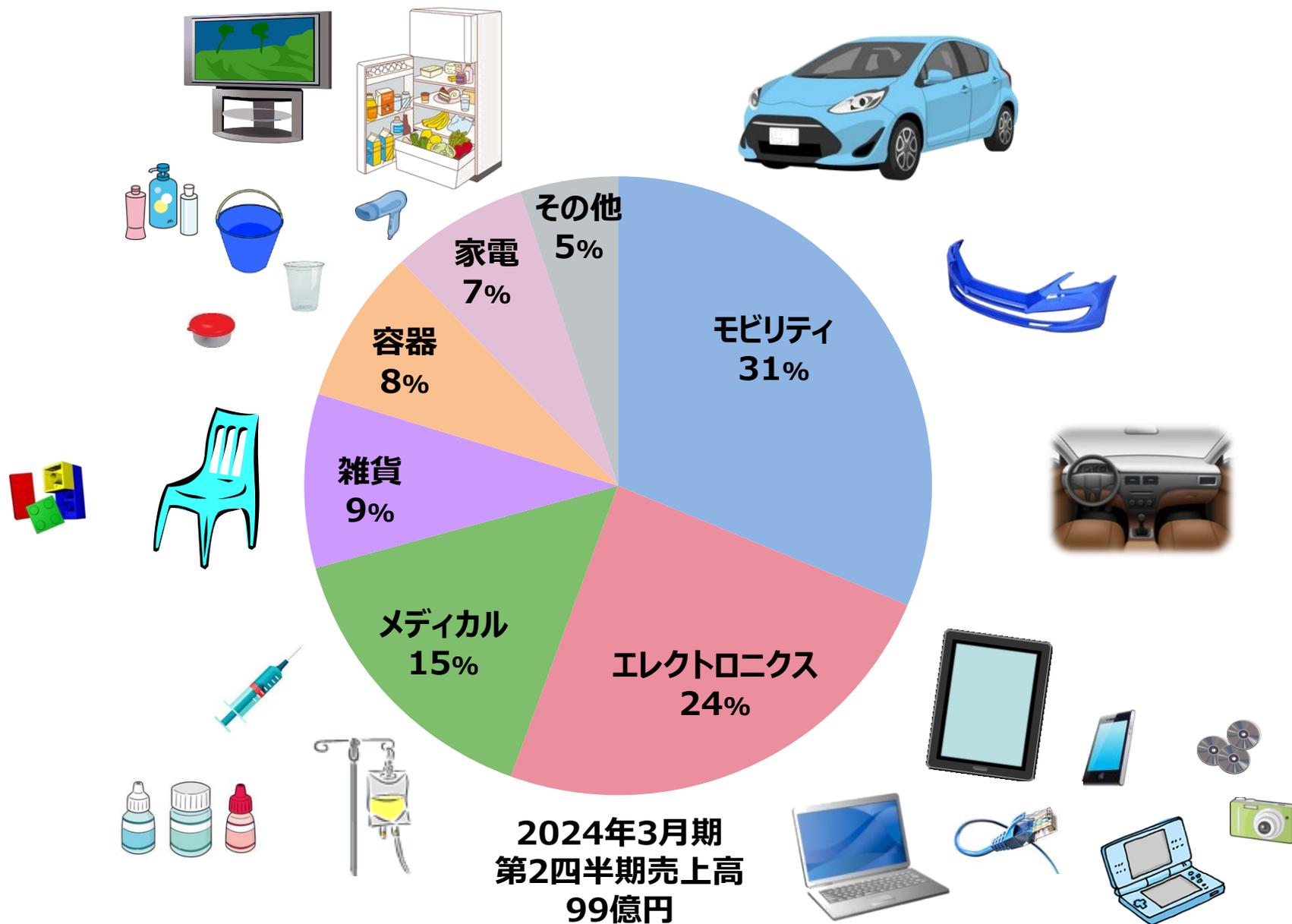
- ▶ '24年3月期上期は、**メディカル**分野は大口案件売上の谷間
モビリティ分野および**エレクトロニクス**分野は力強い復調が見られず
- ▶ '24年3月期下期は、**欧州・北米**で**メディカル**向け特注機売上を見込む

売上高 (百万円)



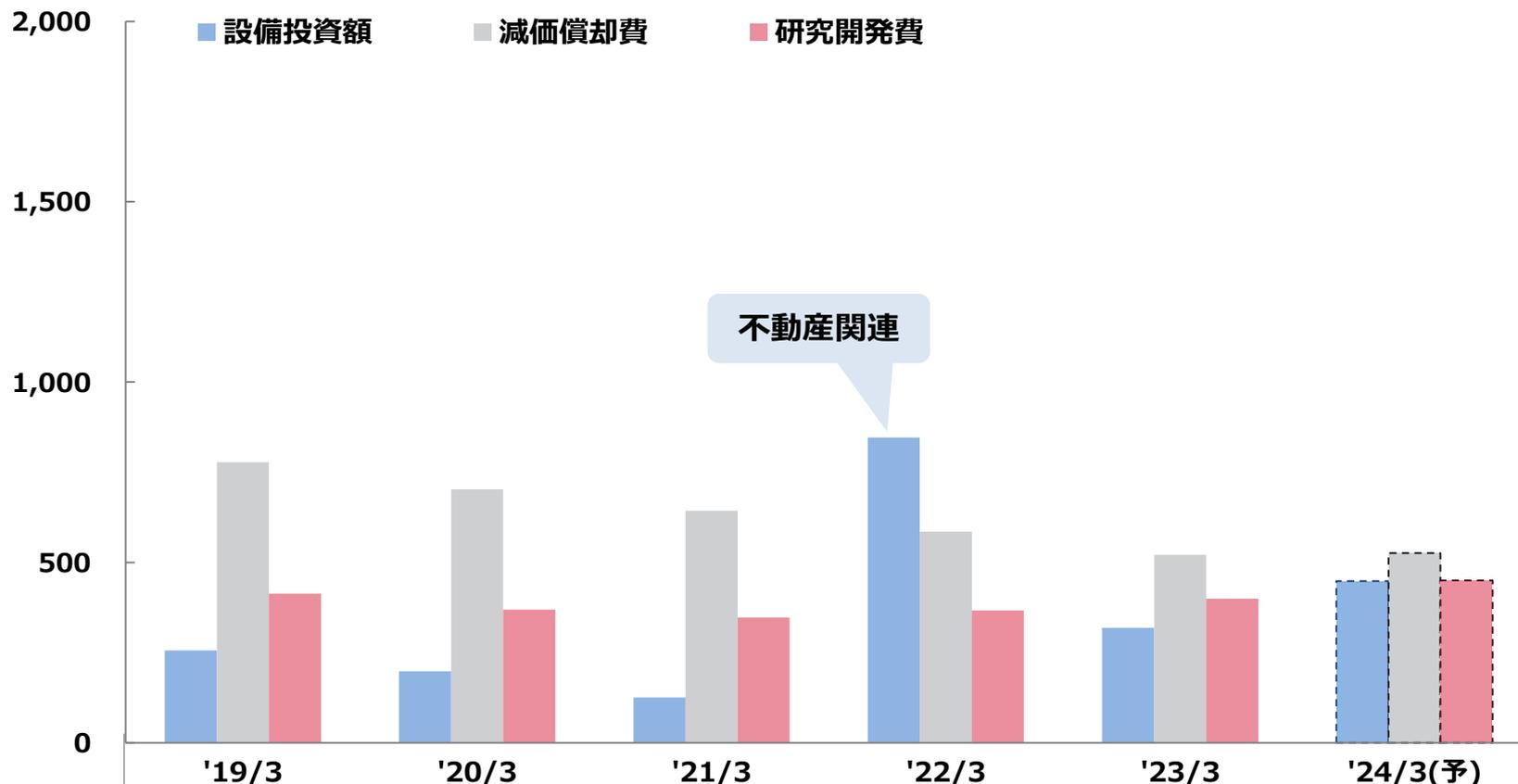
※従来の光学は電子部品と統合しました。

業種別売上高構成



設備投資・減価償却費・研究開発費

(百万円)



■ 設備投資額	256	198	125	846	319	448
■ 減価償却費	778	703	643	585	521	526
■ 研究開発費	413	369	347	367	399	450

中期経営目標

2023年3月期

- 連結売上高：223億円
- 連結経常利益：27億円
- 経常利益率：12.5%
- 1株当たり利益：56円

- 連結売上高：300億円以上
- 連結経常利益：50億円以上
- 経常利益率：15%以上
- 1株当たり利益：75円以上

戦略④ 新規事業の開拓

戦略③ 次世代を切り開く人財育成

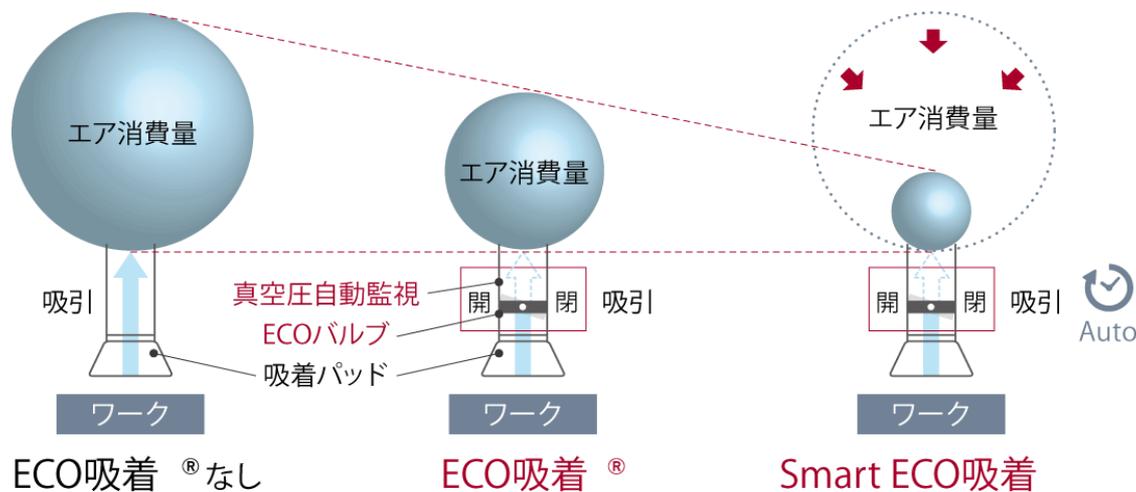
戦略② グローバル競争力の強化

戦略① 商品力の強化

➤ 環境配慮型ロボットの展開

Smart ECO吸着(特許出願中)で省エネに貢献

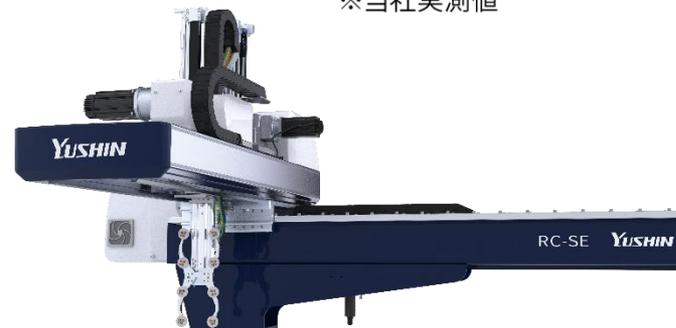
最大 **78%**削減*



※当社実測値



YDシリーズ (2021年10月発売)



RC-SEシリーズ (2021年7月発売)

- **地域特性**に応じた商品開発
- **欧州での拡販** WEMO社(スウェーデン)の株式100%取得 (2023年5月)
- 世界各国のトップクラス企業をターゲットに
- 各国のローカルユーザーの更なる獲得



FAKUMA展 (2023年10月ドイツ)



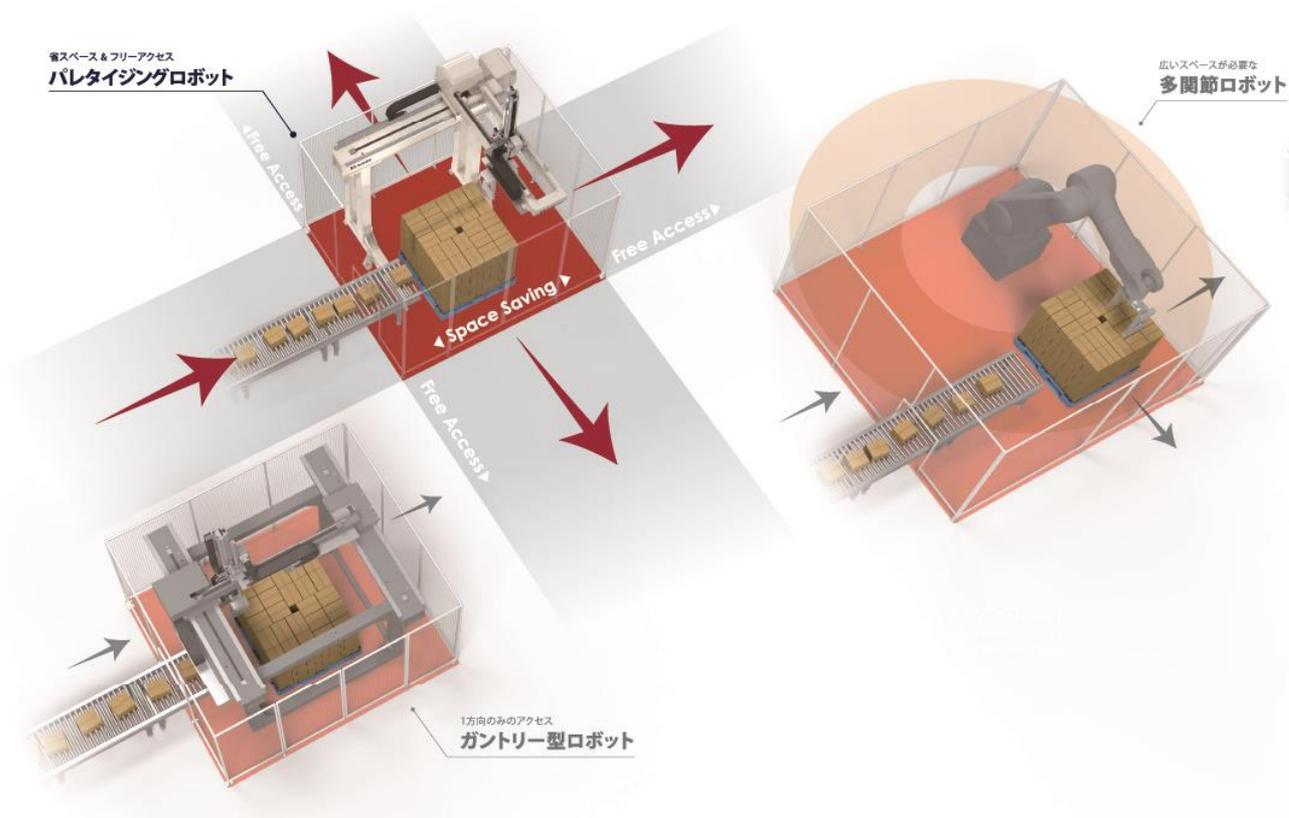
クリーンルーム対応「SX-41」

- 「**まず、想いにとどく**」をコンセプトにブランド・人財育成ポリシーを策定
- 仕事のやりがい・働きやすさの向上に向けた環境づくり
創造性・主体性を持った人財を養う「イノベーションプロジェクト活動提案制度」
- 成長のステージに応じて支援するための教育制度の充実
技術研修(eラーニングも整備)、次世代リーダー育成プログラム、マネジメント研修
- **女性の積極活用**により女性管理職割合4.7% (業界平均3.6%※)



※ 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」生産用機械器具製造業平均値(2023年5月公表)

- **パレタイジングロボット発売（2020年6月）**
 - 食品業界等を主とした**新しいユーザー層**の獲得
 - 省スペース&フリーアクセスをアピール



低全高タイプもラインナップ
(2023年8月)

持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上に向けて、
5つのマテリアリティ(重要課題)を特定しております。

■ 事業を通じた社会課題の解決



1. 労働安全性の強化
2. お客様工場の生産性向上
3. 気候変動への対応

<取り組み事例>

- ・安全性能を高めた商品の開発
- ・労働安全に関するスクール提供
- ・高速、高精度なロボットの開発、販売
- ・省エネ商品の開発、販売

お客様とともに
目指すGoals



■ YUSHINグループの持続的成長に向けた経営基盤の強化

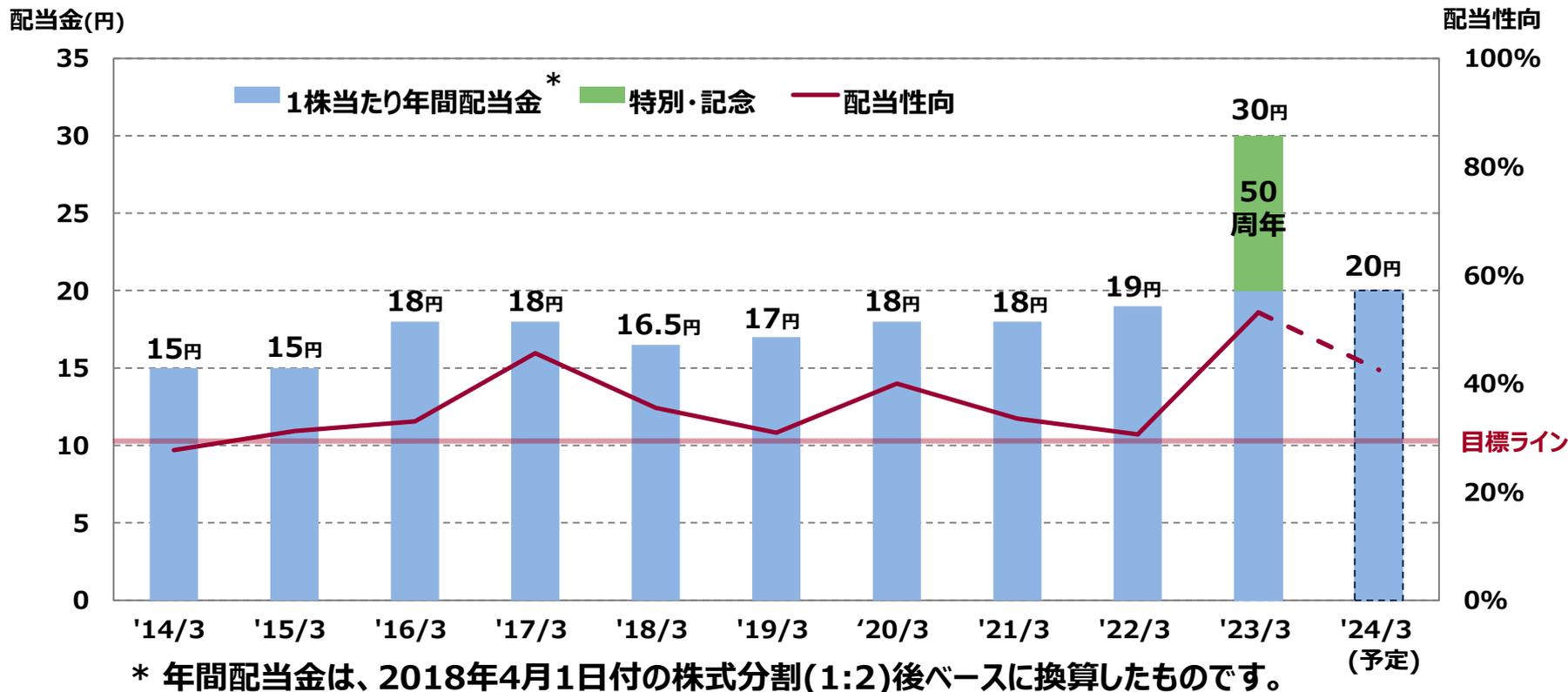


4. 人的資本の強化
5. コーポレート・ガバナンスの強化

- ・イノベーションが起こりやすい風土、環境づくり
- ・それぞれのライフステージに対応した継続的に働ける制度
- ・コーポレート・アイデンティティ(CI)の浸透
- ・取締役の1/3以上が社外
- ・指名・報酬委員会設置 (委員長は社外取締役)

▶ 配当方針

- ・安定的かつ継続的な株主還元を実現するため、配当性向は30%以上を目標。
- ・機動的かつ持続的な投資に備え内部留保を充実、研究開発には毎年一定額の投資を優先させることで、連結業績を向上させ、普通配当水準の引き上げを図る。



参考資料

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長 小谷 高代
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	787人 (2023年9月末現在、連結)
連結売上高	223億円 (2023年3月期)
事業内容	産業用直交型ロボットを中心に工場自動化に関連する装置・システムの開発、製造、販売。
上場	東証スタンダード市場
証券コード	6482
売買単位	100株



技術力

- 高速取出し
- 省エネ
- 提案力

幅広いユーザー層

- 多様な販売先業種
- グローバルに展開
- 新業種への進出

人的 資本経営

信用

- 業界トップシェア
- 労働安全
- サポート力

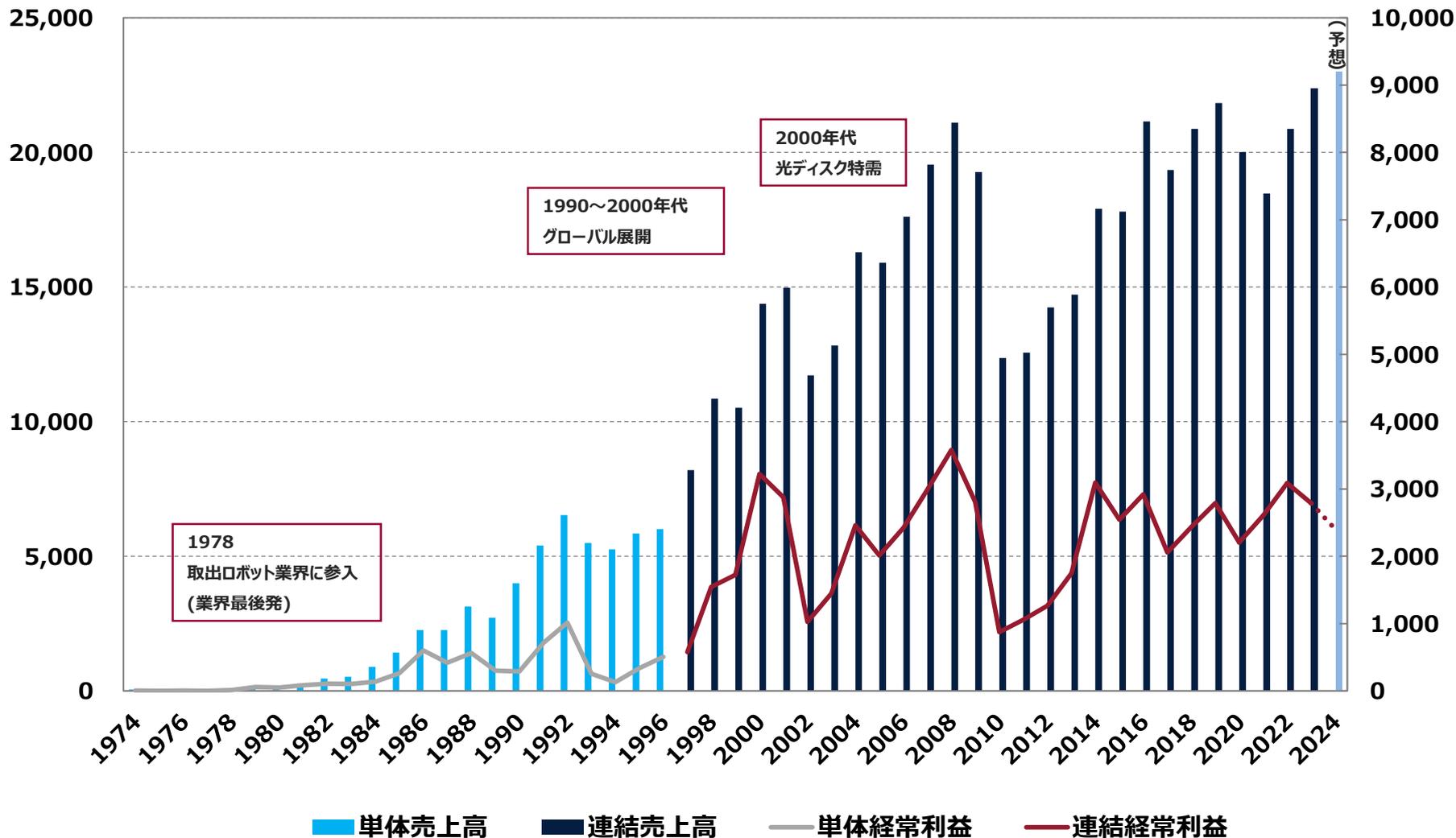
財務体質

- 強固なバランスシート
- 高い自己資本比率
- ファブライト

(参考) 業績推移

売上高 (百万円)

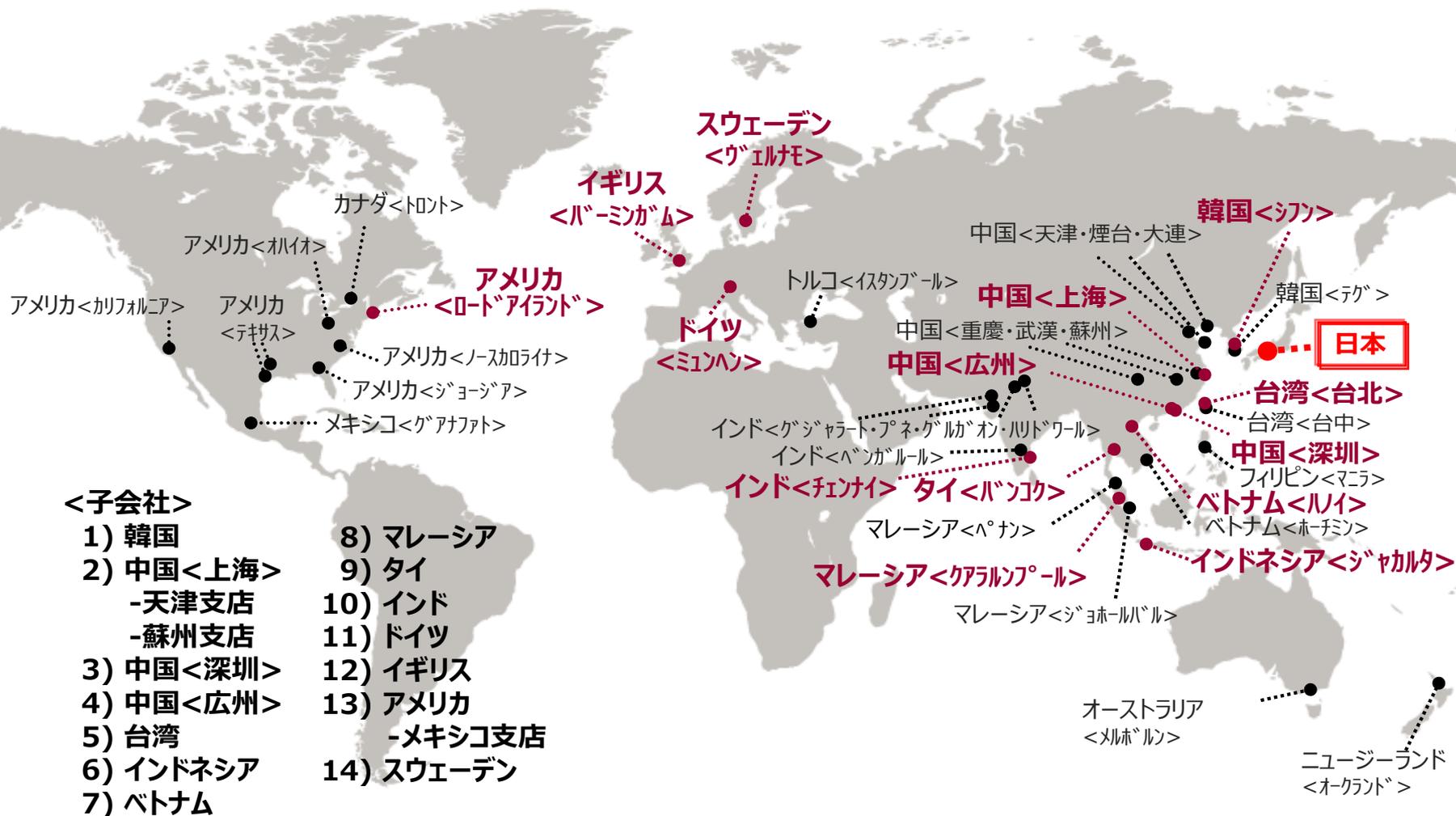
経常利益 (百万円)



(参考) 子会社の業績推移

(百万円)

国名	設立/合併 時期	出資 比率	2022/3			2023/3		
			売上高	営業 利益	当期 利益	売上高	営業 利益	当期 利益
韓国	2000.10	100.0%	1,268	77	66	1,400	90	73
中国(上海)	2007. 2	100.0%	1,772	76	52	1,483	18	33
中国(深圳)	2004. 4	100.0%	922	36	37	747	13	16
中国(広州)	2008. 9	100.0%	2,097	254	233	1,669	179	128
台湾	2001. 7	100.0%	88	8	7	90	0	0
インドネシア	2012.11	99.0%	263	10	5	259	10	5
ベトナム	2014. 2	100.0%	86	12	9	137	23	18
マレーシア	2001. 5	100.0%	224	13	12	209	12	9
タイ	2001. 8	49.0%	815	33	29	996	98	94
インド	2007. 8	95.0%	58	△5	△5	80	2	1
ドイツ	2019. 6	100.0%	32	△31	△31	37	△50	△46
イギリス	2004. 3	95.6%	1,251	188	150	1,920	202	176
アメリカ	1988.10	100.0%	4,027	496	377	4,650	567	427
スウェーデン	2023. 5	100.0%	-	-	-	-	-	-



<子会社>

- | | |
|-----------|------------|
| 1) 韓国 | 8) マレーシア |
| 2) 中国<上海> | 9) タイ |
| -天津支店 | 10) インド |
| -蘇州支店 | 11) ドイツ |
| 3) 中国<深圳> | 12) イギリス |
| 4) 中国<広州> | 13) アメリカ |
| 5) 台湾 | -メキシコ支店 |
| 6) インドネシア | 14) スウェーデン |
| 7) ベトナム | |

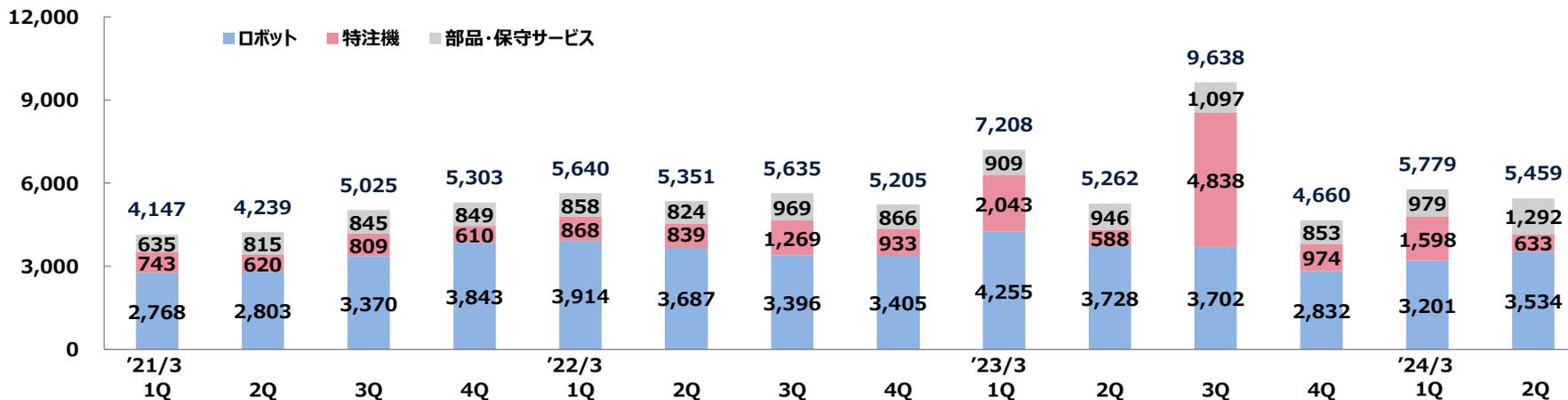
<駐在員事務所>

- 1) フィリピン

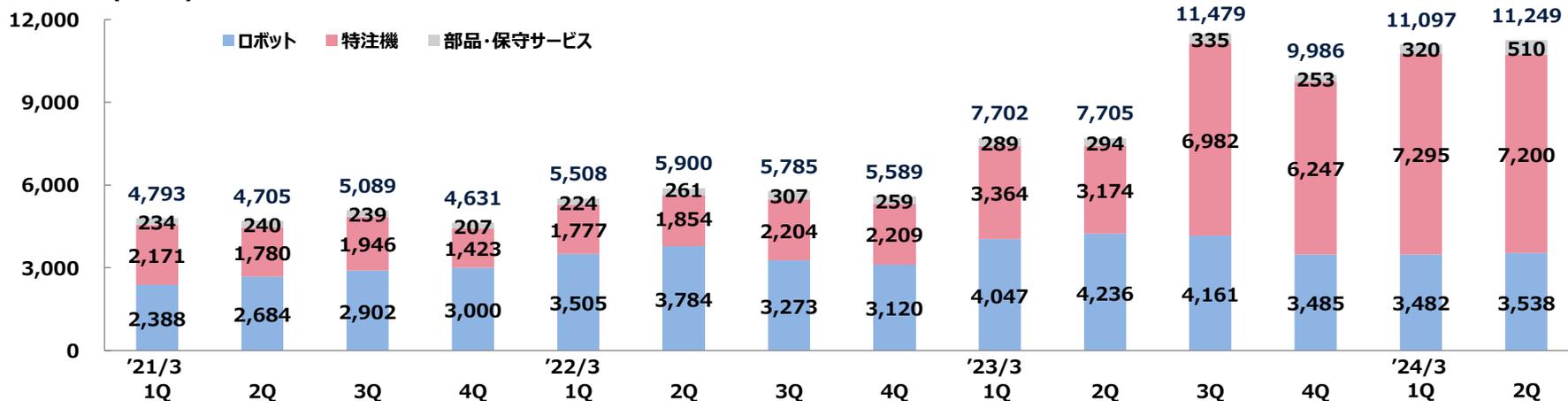
(参考) 受注高・受注残高推移 (四半期毎)

- ロボットの受注は、中国市場の影響もあり力強い復調は見られず
- 特注機は、2023年3月期3Qに**医療向け**の大型案件を受注、2024年3月期下期以降に売上予定

受注高 (百万円)



受注残高 (百万円)



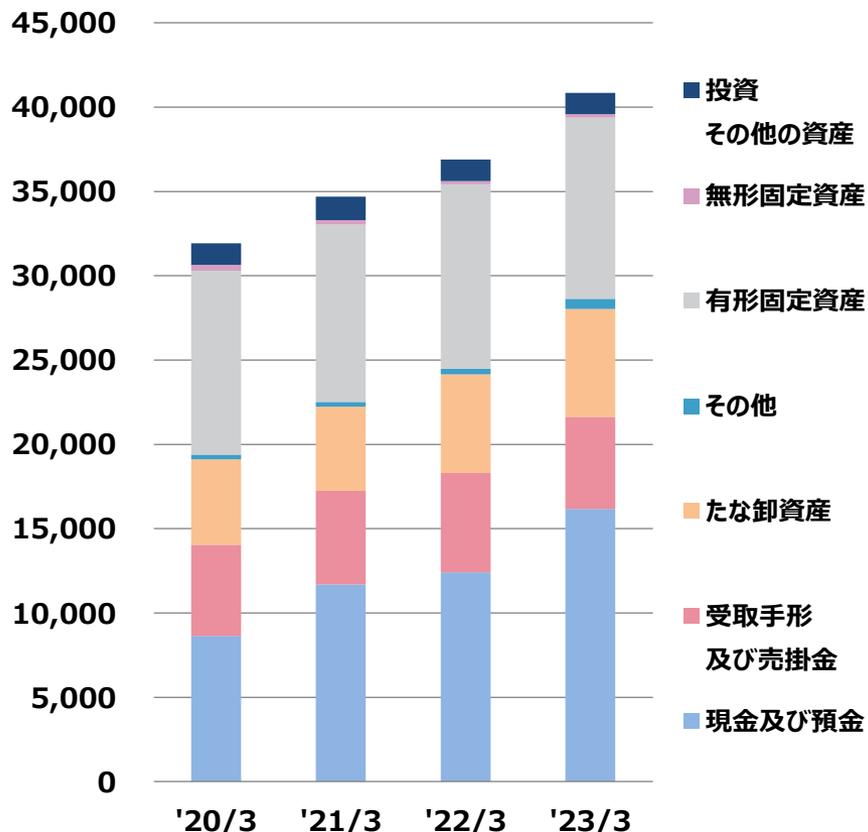
(参考) 貸借対照表

➢ 将来の機動的な投資に備え、**現金及び預金**が増加

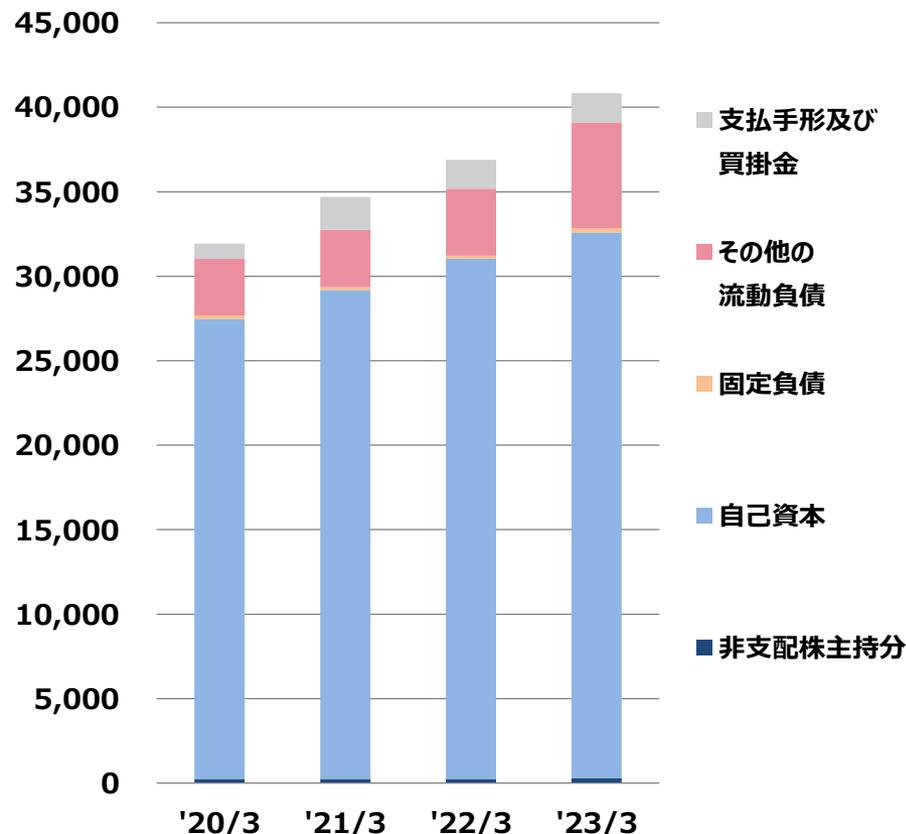
➢ **前受金**により、その他の流動負債が増加

➢ 高い自己資本比率、有利子負債ゼロを継続

◆資産 (百万円)

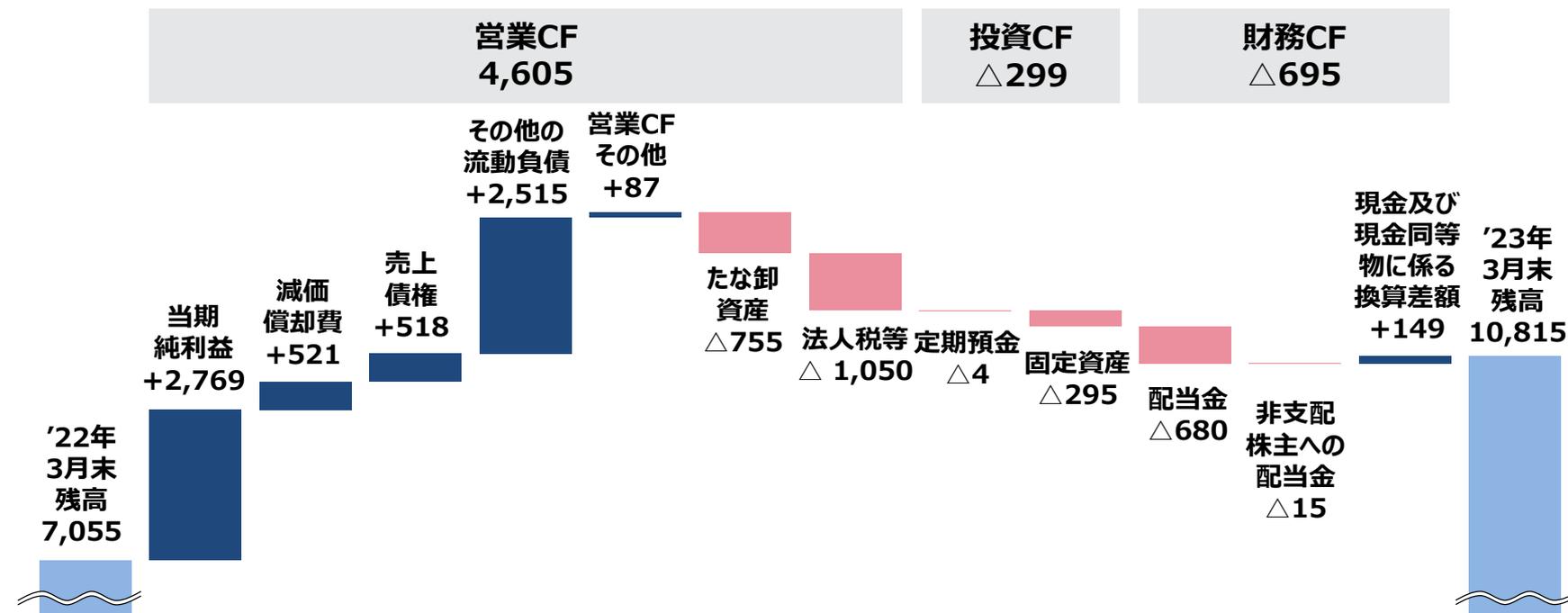


◆負債・純資産 (百万円)



(参考) キャッシュ・フロー(CF)分析・推移

◆主なキャッシュ・フロー分析 (百万円)



◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移

(百万円)

	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3
営業CF	1,223	2,291	3,558	3,487	2,083	4,605
投資CF	△2,511	△61	△1,475	△1,987	△1,341	△299
財務CF	△659	△1,316	△946	△561	△763	△695

ロボット

FRAシリーズ
＜横走行タイプ＞



HSAシリーズ
＜横走行タイプ＞



HSTシリーズ
＜横走行タイプ＞



RCシリーズ
＜横走行タイプ＞



YDシリーズ
＜横走行タイプ＞



SDシリーズ
＜横走行タイプ＞



HOPシリーズ
＜スイングタイプ＞



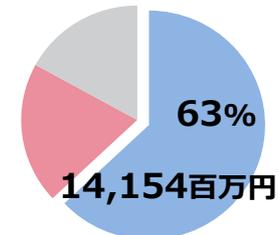
TSXAシリーズ
＜サイドエントリータイプ＞



**パレタイジング
ロボット**



売上構成比



2023年3月期

(参考) 商品ラインアップ (2)

特注機

大容量タイプストックカ



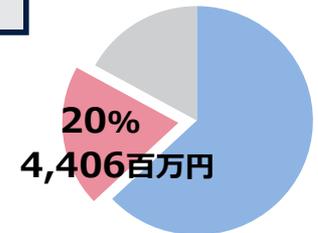
ゲートカットストックシステム



インモールド装置



売上構成比

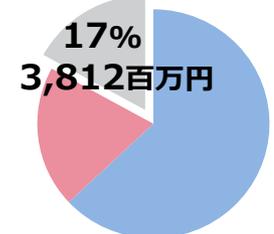


2023年3月期

部品・保守サービス



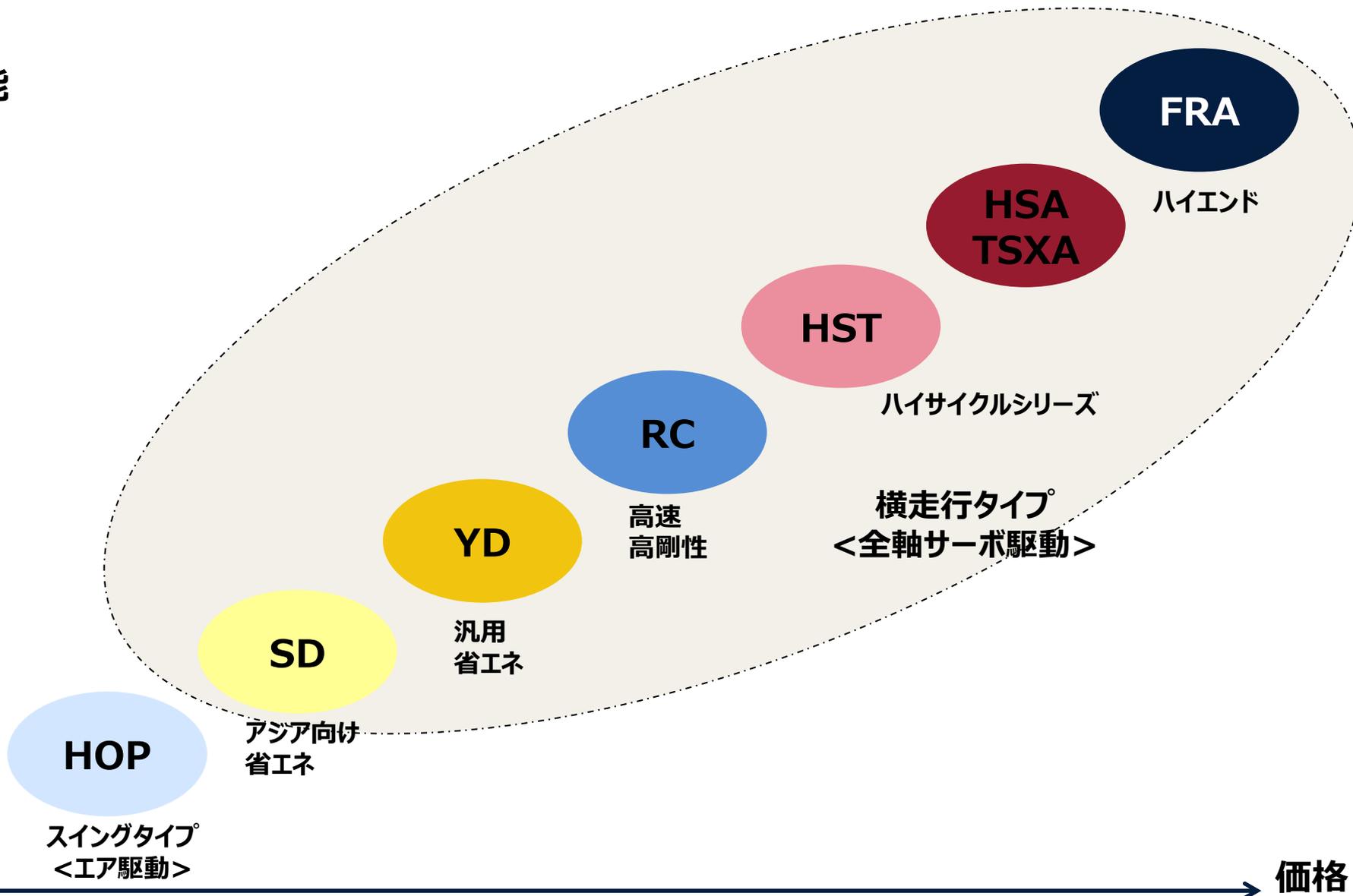
売上構成比



2023年3月期

(参考) 取出口ボットの性能と価格

性能



E 環境

<環境配慮商品>

・**省エネ商品開発** (優秀省エネ機器・システム表彰の受賞)

<気候変動・脱炭素への取り組み>

・**再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え**

・**TCFD提言に基づく情報開示**

S 社会

<人権>

・**YUSHINグループ人権方針制定とリスク特定**

<お客様工場の働き方改革>

・**工場全体の自動化システム提供**

<安心・安全>

・**世界最高基準の安全規格搭載ロボット販売**

<働きやすい環境づくり>

・**健康経営・安全衛生の推進**

・**法要請を上回る育休、時短制度**

G ガバナンス

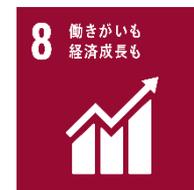
<ガバナンス体制の強化・ダイバーシティ>

・**役員11名のうち、女性2名、社外役員5名**

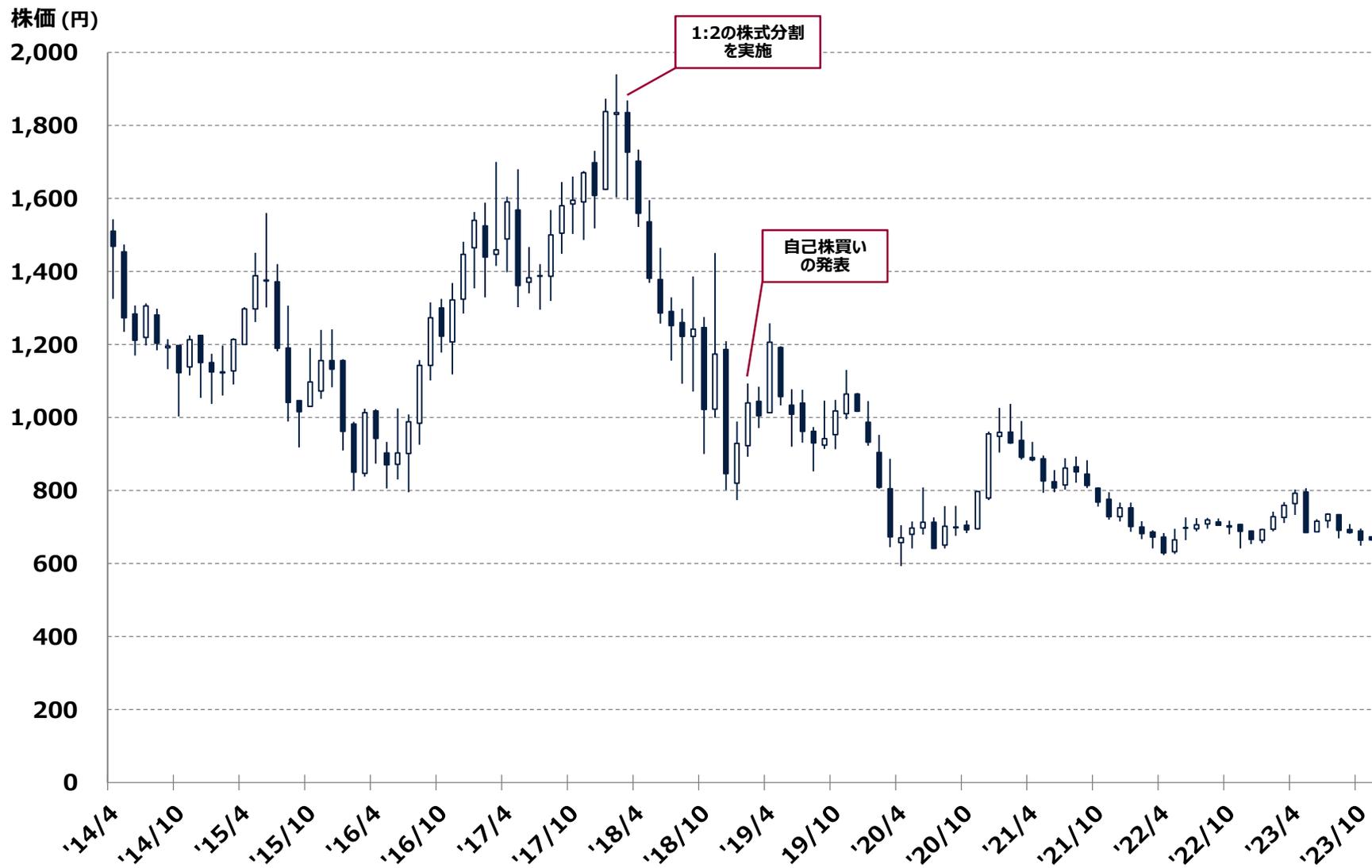
・**実効性評価による取締役会の改善**

・**社外取締役を委員長とした指名・報酬委員会**

関連する SDGs項目



(参考) 過去10年間の株価推移 (月足)



株式会社 ユーシン精機

問合せ先：経営企画室

(TEL) 075-933-9555 (E-mail) irinfo@kyo.ype.co.jp

<https://www.ype.co.jp>

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

<https://ir.ype.co.jp/ja/Top.html>

こちらのQRコードからもアクセスできます。→



注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載をご遠慮下さい。